

らダンバイオガス供給事業を開始 小規模分散型で地産地消

ダイダンは、兼松、レストで高効率の装置で精製後、高圧容器に圧縮充填した後に運搬し、約15*離れた恵庭市内のアレフの食品工場にガス燃料として供給する。わが国初のガス事業分野の再生可能エネルギー供給事業になるという。バイオガスの発生源としては、今後、家畜排せつ物だけで

る。精製機は95%以上でメタン濃縮可能で、液相吸収法、膜法といったほかのメタンガス精製設備と比べ、脱硫性能、維持管理の容易性、低消費電力運転などの面で優れている。環境省の地球温暖化対策ビジネスモデルインキュベーター(起業支援)事業として補助金を受けており、年間82トンの二酸化炭素(CO₂)削減効果があるという。兼松が幹事会社を務め、アレフが受け入れ設備関係、日本総合地所が事業スキームの構築、ダイダンが電気設備関係を中心的に手がけた。国内の有機性廃棄物の全量をバイオガス化し1立方メートルあたり70円で供給した場合、約2300億円の世界規模があると推計されている。